

授業科目名 (英訳)	文化実習 I (茶道) Cultural Practice I (tea ceremony)				担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 非常勤講師 倉斗 宗覚・関根 宗中					
配当学年	1・2・3 回生	単位数	1	開講年度 開講期	H27 前期	曜時限	月 4・5	授業形態	実習	使用言語	日本語
<b>【授業の概要・目的】</b>											
日本の文化を代表する伝統文化・茶道は、総合文化、総合藝術といわれ、あらゆる文化や芸術のジャンルを包摂している。それは、日本にとどまることなく、東洋全般の文化に及び東洋文化の精華とも言われる一大総合文化である。この茶道は、点茶と喫茶の両者を機縁として成立するものであり、本講では学術的な考察だけでなく、茶道の実践を通して茶道を体験的に捉えようとするものである。											
<b>【到達目標】</b>											
形の文化である茶道の亭主と客の基本的所作の習得を通じて茶道の心に知る。また、茶道は茶禅一味と言われるが、中国や日本の諸宗教や思想の影響のもとに成立した東洋文化の精華であることを理解する。											
<b>【授業計画と内容】</b>											
講義： <ul style="list-style-type: none"> <li>・「茶道は何か―点茶と喫茶」</li> <li>・「茶の湯」の言葉の意味・「藝」について</li> <li>・茶道の成立とその思想的背景① ―易経の影響―</li> <li>・茶道の成立とその思想的背景② ―儒教の影響―</li> <li>・暦と茶道 ―風炉と炉―・茶道の精神 ―四規七則</li> </ul> 実習： <ul style="list-style-type: none"> <li>・イントロデュース ―DVD「茶器に招かれて」</li> <li>・「宗家茶室見学」・「薄茶平点前デモンストレーション」―</li> <li>・立居振る舞い ―真・行・草―・清めの心と所作 ―道具の扱い・帛紗さばき―</li> <li>・①点茶の所作 ―水と茶を運ぶ― ②喫茶の所作・点前の三要素 ―位置と決定・順序・動作―</li> <li>・茶事とは何か① ―炭・懐石・濃茶・薄茶―</li> <li>・茶事とは何か②</li> </ul>											
<b>【履修要件】</b>											
茶道の実習は裏千家茶室(関連施設)で行います。 なお、履修にあたり基本的な用具(帛紗他)の購入が必要です。詳細は別途周知します。											
<b>【成績評価の方法・観点及び達成度】</b>											
レポートと平常点											
<b>【教科書】</b>											
特になし											
<b>【参考書等】</b>											
講義のつど資料を配付します。											
<b>【授業外学習(予習・復習)等】</b>											
茶道具づくりや茶会を体験することを推奨します。											
<b>【その他(オフィスアワー等)】</b>											
実習(講義を含む)の実施は変則です。開始時間は、15:00 です。(終了時間 18:00 頃) 実習等の詳細な日程等は、別途周知します。 なお、実習では別途実費を徴収します。徴収方法等は別途周知します。											